

2020年10月27日

日本学生支援機構が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について

京都信用金庫は、このたび、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「同機構」という）が発行する「ソーシャルボンド」への投資を実施しました。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券のことであり、グリーンボンドとともに、ESG⁽¹⁾投資の対象となります。また、「ソーシャルボンド」は、資金調達がSDGsに貢献する事業に充当される、いわゆる「SDGs債⁽²⁾」に該当します。

本債券は、国際資本市場協会（ICMA）が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、世界的なESG評価機関であるヴィジオアイリス（Vigeo Eiris・フランス）からセカンドオピニオンを取得しており、「ソーシャルボンド」として明確に評価されています。

本債券の発行による調達資金は、同機構が担う奨学金事業の内、貸与奨学金の財源として活用されます。奨学金事業は、日本国憲法第26条や教育基本法第4条に定められる「教育の機会均等」や、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の内、目標4「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に資する等、我が国の教育面の課題解決に貢献します。

当金庫では、本債券を始めとしたグリーンボンド・ソーシャルボンド（SDGs債）への投資を継続的に実施することで、今後も社会的役割を果たしてまいります。

記

<本債券の概要>

銘柄	第61回日本学生支援債券
年限	2年
発行額	300億円
発行日	2020年11月9日

- (1) ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とは、これらの要素を重視・選別して行う投資のこと。
- (2) SDGsとは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと。SDGs債とは、調達資金がSDGsに貢献する事業に充当される債券の総称。

以上